

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男) 1 回戦

試合日: 2014/08/02
開始時刻: 14:00~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Dコート
試合順: 第4試合(男) 1 回戦

Team A 県立鳴門渦潮 (徳島県)	53	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>-</td><td>28</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>9</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>20</td></tr> </table>	15	-	28	13	-	22	9	-	21	16	-	20	91	Team B 県立広島皆実 (広島県)
15	-	28														
13	-	22														
9	-	21														
16	-	20														

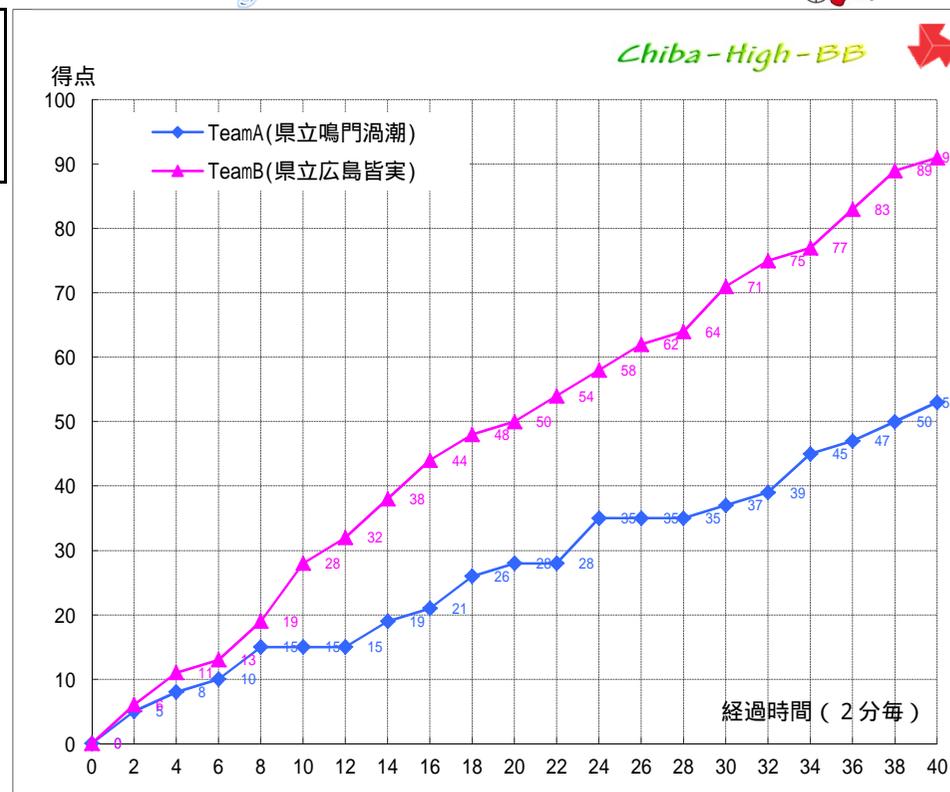
TeamA(県立鳴門渦潮)

PT	選手名	得点	3分 イント		フリース- 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー	
			成	成			off	def	計				
4	速井 寛太	22	1	8	3	1	0	1	1	4	0	5	
5	村田 和輝	12	1	2	5	2	2	4	6	2	0	5	
6	山本 拓実	6	0	3	0	2	1	1	2	0	0	2	
7	山田 基雄	8	1	2	1	4	1	3	4	0	0	5	
8	根東 孝都	0	0	0	0	3	1	1	2	4	0	5	
9	深川 竜己	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	山崎 季樹	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
11	細井 柊哉	5	1	1	0	4	2	1	3	0	0	6	
12	田中 大翔	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	
13	三輪 和弥	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	
14	栗村 和瑛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	池北 凌大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:						0	6	12	18			1	
合計			53	4	16	9	16	13	24	37	10	0	28

TeamB(県立広島皆実)

PT	選手名	得点	3分 イント		フリース- 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー	
			成	成			off	def	計				
4	佐々井 雄大	18	0	7	4	1	1	3	4	3	1	0	
5	山崎 翔梧	10	0	5	0	4	0	1	1	2	0	0	
6	小栗 尚幸	18	1	6	3	1	3	4	7	4	0	2	
7	豊田 湧一郎	4	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	
8	吉崎 綾汰	4	0	2	0	1	2	1	3	2	4	0	
9	濱川 優	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
10	西村 風馬	2	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	
11	江口 駿也	8	0	4	0	2	3	1	4	1	0	2	
12	伊森 響一郎	14	1	3	5	2	1	0	1	2	0	3	
13	倉富 チアゴ	13	0	6	1	0	2	1	3	0	0	2	
14	景山 瑛登	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
15	新井 泰斗	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:						1	6	12	18			0	
合計			91	2	36	13	14	20	24	44	15	5	9

T0 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



	前半(1-2P)リフト	後半(3-4P)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	10:36	-	31:45	-	-	-
TeamB	-	-	-	-	-	-

【戦評】

両者ともハーフコートマンツーマンで試合開始。互いに積極的に個人技を仕掛けるが、高さで勝る広島皆実が堅いディフェンスで得点を許さず、オフェンスでは#12のシュートなどで試合を優位に展開する。
第2P、鳴門渦潮は#4の個人技で対抗するが広島皆実チームディフェンスでしっかりと守り、そこからの速攻で点差を大きく広げる。
第3P、鳴門渦潮は2-1-2ゾーンに切り替えるが広島皆実は落着いてパスを回し、#4のジャンプシュートなどで得点を重ねリードを保つ。
第4Pも同様の展開で、総合力で勝る広島皆実が危なげなく勝利を収めた。

審判	鈴木 宏 / 種谷 佳祐 /	戦評	中山 知博
----	----------------	----	-------